
 編集委員会だより

「天気」掲載料の規定を変更します

「天気」では1999年以来、論文と短報について著者の所属機関に所定の掲載料をご負担頂いております。一方、解説は編集委員会からの依頼によるものが多く、これまで掲載料を頂いておりませんでした。しかし、解説の中にも自主的な投稿によるものがあり、近年その数が増える傾向にあります。自主投稿による解説は、最新の研究に関する情報提供として会員全体の利益になるものですが、それと同時に著者の研究成果に関連する情報発信という意味もあると考えられ、また、複数の査読者による査読を経た著作物であるという点で論文に類似した性格を持つものと考えられます。

編集委員会では自主投稿の解説の投稿を歓迎致しますが、掲載料について論文・短報とのバランス等を検討した結果、2012年4月の投稿受け付け分から、自主投稿による解説についても掲載料をご負担頂くことと致しました。論文・短報・解説それぞれの1ページ当たりの掲載料（消費税込み）は以下ようになります。

- 論文：最初の12ページまで5,250円、これを超えた

- 分については10,500円（従来通り）。

- 短報：最初の6ページまで5,250円、これを超えた分については10,500円（従来通り）。
- 解説：最初の20ページまで5,250円、これを超えた分については10,500円。

いずれも、最終原稿が電子媒体として提出された場合には、その様式が「天気」の投稿規定に合致することを条件として上記の額から1,050円/ページを割り引きます。

なお、編集委員会からの依頼による解説（気象学会各賞の受賞記念解説、春季・秋季大会シンポジウム報告を含む）については、これまで通り掲載料を頂きません。また、著者が（共著の場合は著者全員が）研究を本務とする機関に所属していない場合や、著者の一部が研究を本務とする機関に所属していても当該機関が掲載料を支出できない合理的な理由がある場合には、著者の申請により掲載料を免除致します。

会員の皆様のご理解を賜りますようお願い致します。